



Q 市税確保の現状は

持田 敏明 議員



A 収納率の向上に努め、 自主財源の確保を図る

- 質問一** 本市の収納率について。
- 二** 滞納処分について。
- 三** 不納欠損について。
- 四** 税務課の職員研修について。
- 五** 死亡者課税の現状について。
- 六** ふるさと納税について。
- 答弁一（市長）** 平成26年度国民健康保険税を除いた市税の収納率は、94・06割であり、県内63市町村中37番目に位置する。
- 二** 督促状を発送後、納税の催告や財産調査の予告書などを送付し、納税や納税相談を促しているが、誠意のない方については、財産調査後に差押えを行っている。
- 三** 財産がない、生活維持が難しい、所在、財産ともに不明、外国人の帰国や相続放棄などのほか、時効による徴収権の消滅である。
- 四** 国、県、川越地区税務協議会

- などが主催する研修への参加や、日常業務を通じた職場内研修を効果的に実施している。
- 五** 賦課期日の27年1月1日より前に死亡している方は255人。うち、相続人等により賦課期日前までに相続登記を完了した方は83人。残る172人分は現に所有する方に納税通知書を送付した。
- 六** 記念品の提供による地域経済の活性化、自主財源の確保等につながっている。

Q

高齢者の交通安全 対策について

松尾 孝彦 議員



A

交通安全思想の普及を図るとともに、講習会等を行う

- 質問一** 歩行者・自転車の事故防止対策について。
- 二** 高齢ドライバーの事故は。
- 三** 高齢者の運転免許自主返納は。
- 四** 交通弱者への支援について。
- 五** 交通安全教育について。
- 答弁一（市長）** 交通安全思想の普及を図るとともに、看板や白線
- 標示を設置し、交通安全確保に努めている。高齢自転車乗用者に対しては、自転車安全利用五則の普及促進を図るとともに、自転車安全利用講習会を行い、交通事故防止対策を推進している。
- 二** 高齢ドライバーの事故は、半見運転によるものが最も多く、半



- 数以上を占めている。
- 三** 自主返納希望者は増えており、西入間警察署管内では11月26日現在、643人が自主返納をした。
- 四** 交通弱者優先の正しい道路通行の方法を周知・啓発している。
- また、今後、市内公共交通の利用の促進が図れるよう、関係課の連携を図ることが必要と考えている。
- 五** 鶴ヶ島自動車教習所と協働して実技主体の自動車交通安全教育「シルバードライバードック」を開催しており、27年は延べ50人の参加があった。
- ◎**その他の質問** 休日・夜間の震災対応について